



普段は目に見えない、緑の下の力持ち的存在？  
手術室や集中治療室など命に関わる時に、誰よりもずっとそばにいて対応！  
でも残念ながら、患者さんは眠っていて全くわかりません。。。

## 麻酔科医って、いつもどこで何してるの？

大きく分けると下の三つです。

### ①手術室での麻酔、術中の麻酔管理

- 点滴からの麻酔と呼吸で吸うガス麻酔 手術中ずっと二刀流  
☞だから、手術の途中で麻酔が切れない！醒めない！
- 眠っている間は、のどに管を入れ人工呼吸、輸液、血圧測定  
☞血圧低下、出血、酸素低下等、緊急事態にすぐに対応！
- あれっ、もう手術終わったの？今から始まるんでしょ？  
☞麻酔で眠っている間は時間が止まっている？のかも
- 手術したはずなのに痛くない！なんで？  
☞手術中に強い痛み止めを適量使うから。麻酔から覚醒した時に”ぜんぜん痛くありません”と言われると、実はとっても嬉しいデス

### ②集中治療室での全身管理、重症患者の治療 後述

### ③ペインクリニック(現在休診中)

## 当院麻酔科の特徴

- 野上医長を中心とした、若手からベテランまで9名。
- 麻酔科学会認定指導医6名。  
機構専門医6名(うち5名は指導医を兼ねる)  
レジデント2名。  
JB-POT(経食道心臓エコー専門医)取得3名。  
集中治療専門医1名。
- 男性4名、女性5名(女性の方が多い!)  
妊娠、出産、病気、介護等に伴い、時短等のフレキシブルな勤務あり。  
麻酔以外に集中治療室での日当直もあり。



## 手術実績 2020年度 主要麻酔件数

総手術件数6,039件、そのうち、麻酔科管理症例数3,003件  
(残り3,000件余りの非管理症例は、局所麻酔や自科麻酔等)

内訳	全身麻酔	2,845件
	(そのうち全身麻酔+硬膜外麻酔併施267件)	
	腰椎麻酔+硬膜外麻酔	59件
	腰椎麻酔	83件
	その他	16件
詳細	小児(6歳未満)	145例
	65歳まで	1,216例
	66歳以上	1,642例
	帝王切開(超緊急あり)	138例
	心臓血管外科	157例
	胸部外科	210例
	脳神経外科	43例
	整形外科	1,114例

- 特徴
- あらゆる科があり、あらゆる手術の麻酔に対応。
  - あらゆる年齢層。  
未熟児から100歳以上。やはり高齢者が多い。
  - 整形外科症例が全体の約1/3を占める。



実際に利用している麻酔器

## 集中治療室(ICU)でのお仕事

- ひとつ、循環呼吸管理に尽きると言えます
- 24時間365日、日当直医が常駐

例えばどんな患者さんを診るの。。。？

- 全身状態が非常に悪い(重症肺炎などの呼吸不全、心不全、肝不全等)
- 血圧が全然上がらない(ショック状態)
- 数千ml以上の大出血(外傷、出産、手術等)
- 重症感染症(敗血症)
- 心停止蘇生後
- 脳出血等で意識レベル低下
- 一日中、透析必要
- おおよそ8時間以上の長時間で難しい手術後の術後管理
- ECMO(今コロナで話題ですね)PCPS装着の患者さん等

## じゃあ麻酔科医と、いつどこで会えるの？

- 手術前日と翌日に病室へ訪問。
- 麻酔方法の説明や、術後の全身状態チェック。
  - ▶ 話ができるのはこの時だけ!些細な疑問など何でも質問して下さい!



全身麻酔下にて人工呼吸中の患者さん



中央 麻酔管理をする檀浦医師

## おわりに

麻酔科医は直接患者さんとお会いする機会は少ないです。

- 手術を安全に受けられるよう、循環呼吸状態の維持に努め
- 重篤な状態になった時の治療をすみやかに行い
- 他科の先生との橋渡しや手術の進行の段取りをする

院内でも地味な存在ですが、これからも我々麻酔科をよろしく  
お願いいたします!

